

豊橋市視聴覚教育センター

Toyohashi Audio-visual Education Center

豊橋市地下資源館

Toyohashi Museum of Natural Resources

年報  
令和元年度

ANNUAL REPORT OF THE  
TOYOHASHI AUDIO-VISUAL EDUCATION CENTER  
TOYOHASHI MUSEUM OF NATURAL RESOURCES  
2019-2020

豊橋市役所教育部  
科学教育センター

## はじめに

30年続いた平成という時代から、5月1日に新たな元号「令和」という時代を迎えました。令和が始まったゴールデンウィークの10連休や即位礼正殿の儀プラネタリウム無料開放では多くの方にお越しいただきました。一方、相次ぐ台風により新しく始めた「小学生サイエンスアイデア作品展」の表彰式が中止になり、全世界的に流行した新型コロナウイルスの影響は、当施設だけでなく人々の日常に大きな影を落としました。

新型コロナウイルス対策ではイベントの中止やプラネタリウムの入場制限、非接触型の展示物への変更、消毒の実施等を行いました。このため、前年に対して大きく伸びていた入館者数は3月に下降しました。プラネタリウム観覧者に至っては6%以上のマイナスとなりました。

新型コロナウイルスの影響は、まだまだ先が見えないところがありますが、ご来館いただいた方に安全かつ楽しく自然科学を学ぶ機会を提供できるよう努力してまいりたいと考えています。

ここに令和元年度年報を作成いたしましたのでご覧の上ご指導いただければ幸いです。

令和2年9月

豊橋市役所教育部科学教育センター

豊橋市視聴覚教育センター

豊橋市地下資源館

## 目 次

はじめに

### I 管理運営概要

1. あゆみ	1
2. 視聴覚教育センター施設概要	4
3. 地下資源館施設概要	5
4. 職員	6
5. 令和元年度決算	6
6. 利用状況	8
7. 主要事業の実績	17

### II 事業概要

1. わくわく体験活動	19
2. 小学生サイエンスアイデア作品展	20
3. 企画展「電気のふしぎ」「おもしろ材料の世界」	21
4. サイエンス講座	23
5. 視聴覚教育センター事業一覧	24
6. 地下資源館事業一覧	25

付録

- ・ 豊橋市視聴覚教育センター条例
- ・ 豊橋市視聴覚教育センター条例施行規則
- ・ 豊橋市地下資源館条例
- ・ 豊橋市地下資源館条例施行規則



# I 管理運営概要

## 1. あゆみ

年 月 日	事 柄
昭和48年10月13日	視聴覚教育センター起工式
昭和49年 8月31日	視聴覚教育センター工事しゅん工
10月 9日	視聴覚教育センター開館 初代プラネタリウム 五藤光学「GM-15-A Tモリソン型」
11月14日	小学校（6年）計画学習開始
11月17日	プラネタリウム一般投映開始（毎週日曜日：3回）
昭和50年 1月14日	中学校（2年）計画学習開始
昭和53年 8月 3日	常陸宮殿下・妃殿下ご来館
昭和54年 7月11日	地下資源館起工式
昭和55年 7月31日	地下資源館工事竣工
11月 1日	地下資源館開館
11月 6日	視聴覚教育全国大会開催（2日間）
昭和56年10月 7日	地下資源館を公立博物館として登録
昭和56年	企画展「洞くつ展」開催
昭和57年	企画展「省資源・省エネルギー展」開催
昭和58年	視聴覚教育センター開館10周年（日時計等の寄贈を受ける） 企画展「セラミックの科学展」開催
昭和59年10月19日	資源をくらしに生かす創意工夫展開始
昭和59年	企画展「地質図展」開催
昭和60年 7月28日	親子映画会開始（科学映画会をリニューアル「宇宙大戦争」）
昭和60年	企画展「資源を探る科学展」開催
昭和61年10月18日	子どものための科学展開始
昭和62年	企画展「新しい材料の科学展」開催
平成 2年 4月 7日	プラネタリウムリニューアルオープニングセレモニー 2代目プラネタリウム ミノルタ「インフィニウムβ 一球型+惑星投映機」 座席及びスクリーンも改修
平成 2年	プラネタリウム一般投映拡大（祝日：3回、土曜日：1回） 研修用コンピュータ21台設置（教育工学室）
平成 4年	第2土曜日が学校休業日となり「紙すき教室」、「切り絵教室」などのワークショップを新たに実施
平成 6年	教育会館が完成：教材、機材の貸し出し、教員の研修・研究活動などの業務を移管 「麦笛ひろば東」設置 企画展「郷土の貝展」開催 計画学習が小学校のみに（中学は希望学習に）
平成 7年	プラネタリウム一般投映拡大（平日：1回、土曜日：3回） 企画展「郷土のミニ自然展」開催
平成 8年	企画展「宮沢賢治と鉱物展」開催
平成 9年 6月24日	新収標本「世界最大のトパーズ原石」納入
平成 9年	プラネタリウムにビデオ映像システムを設置
平成11年 5月 9日	いきいきパスポート（現：ほの国こどもパスポート）開始
平成12年 4月 1日	地下資源館が学校教育課から自然史博物館（課）へ所管替え
平成12年 7月 8日	地下資源館ホームページ開設
平成12年	地下資源館開館20周年特別企画展「宝石になった鉱物」開催
平成14年	エネルギー体験館ーみよう・ふれよう電気の世界ー 計画学習6年生から4年生へ移行
平成15年	企画展「小柴昌俊博士ノーベル賞神岡鉱山展」開催 企画展「原石と宝石展」開催 収蔵資料紹介展「砂コレクション」開催

年 月 日	事 柄
平成16年	科学巡回展「電気と光のおもしろ実験工房」開催 ミニ展示「美しい石のかけらたち」開催 「小柴記念賞コーナー」設置 収蔵資料紹介展「水晶の世界」開催 巡回展「毛利宇宙飛行士の部屋展」開催
平成17年	計画学習を「わくわく体験活動」と名称変更「郷土社会学習」との選択制へ 企画展「パワーストーン 石のひみつ」開催 科学巡回展「科学市場」開催 ミニ展示「日本の鉱物」「電気をつくろう」開催
平成18年	サイエンス・ボランティア発足 企画展「あなたもできる科学マジック」開催
平成19年	企画展「地球からのプレゼント 誕生石の産状と原石」開催
平成20年	企画展「国際宇宙ステーション 宇宙から地球をさぐる」開催 企画展「わたしの実験ショウタイム」開催 学習支援展示「どんぐり展」開催
平成21年	企画展「国際宇宙ステーション 宇宙から地球をさぐる」開催 企画展「実験ショー☆パラダイス」開催 企画展「太陽とこれからのエネルギー」開催 わくわく科学講座「電気工作教室」開催
平成22年 2月 5日	地下資源館屋上に太陽光発電システム設置
平成22年 4月 1日	視聴覚教育センターが学校教育課から自然史博物館（課）へ所管替え
平成22年	企画展「もったいない 地上の地下資源とエネルギー」開催 企画展「実験ショー☆パラダイス2010」開催 「電気工作クラブ」「科学実験クラブ」「天文クラブ」スタート
平成23年11月 5日	プラネタリウムリニューアル 3代目プラネタリウム 五藤光学「パンドラ・ハイブリッド 一球型+デジタル」 土日祝4回投映に拡大
平成23年	企画展「実験ショー☆パラダイス2011」開催
平成24年 4月 1日	地下資源館と視聴覚教育センターを所管する新しい課「科学教育センター」新設、旧所管課の自然史博物館は教育部から新設の総合動植物園部へと機構改革
平成24年11月 3日	プラネタリウムオリジナル番組「宇宙エレベーター 2061豊橋から宇宙の旅」公開
平成24年	巡回展「月～もっとも身近な天体」開催 企画展「実験ショー☆パラダイス2012」開催
平成25年 1月 2日	「二川ぐるっとスタンプラリー」開始
平成25年	企画展「実験ショー☆パラダイス2013」開催 企画展「ジャンボすごろくで体感！日本の宇宙科学の歴史と未来」開
平成26年 3月28日	小型風力発電装置（2台）設置
平成26年	企画展「実験ショー☆パラダイス2014」開催 視聴覚教育センター開館40周年「サイエンス講座 & ICT講座」開催 企画展「宇宙ペーパークラフト大集合」開催 視聴覚教育センタートイレ等改修（洋式化、多目的、授乳室）
平成27年	企画展「実験ショー☆パラダイス2015」開催 科学巡回展「太陽のふしぎ」開催
平成28年 2月 7日	地下資源館開館35周年記念「天野浩先生講演会：世界を照らすLED」（穂の国芸術劇場プラット主ホール）

年 月 日	事 柄
平成28年 3月27日	サイエンスイベント「視聴覚教育センター with すイエんサー」開催
平成28年 7月 9日	プラネタリウム土日祝4回放映→3回放映へ
平成28年	巡回展「電気の道」開催 市政施行110周年記念事業「星空キャラバン隊」開催 市民提案イベント「スティーロパンコンサート」開催 名古屋大学出前授業開催
平成29年 3月24日	館内に公衆無線LAN整備
平成29年	企画展「実験ショー☆バラダイス2017」開催 名古屋大学出前授業開催 豊橋技術科学大学出前授業開催 謎解きフタガワCODE開催
平成30年 5月 5日	SNS（ブログ、フェイスブック、インスタグラム）開始
平成30年 7月24日	第3研修室に図書コーナーの設置
平成30年	企画展「電気のふしぎ」開催（令和元年9月まで） 名古屋大学出前授業開催 豊橋技術科学大学出前授業開催 謎解きフタガワCODE開催
令和元年7月11日	視聴覚教育センター展示フロアにエアコン設置
令和元年7月13日	プラネタリウム土日祝3回→4回放映
令和元年7月19日	AR体験コーナー設置
令和元年	企画展「おもしろ材料の世界」開催（令和2年8月まで） 名古屋大学出前授業開催 豊橋技術科学大学出前授業開催 謎解きフタガワCODE開催 第1回小学生サイエンスアイデア作品展開催 視聴覚教育センターアーカイブ展開催 美博連携「魔法の美術館」、「ひなまつり」開催
令和2年2月29日	コロナ対策：イベントの中止
令和2年3月31日	ホームページリニューアル
令和2年4月11日	コロナ対策：プラネタリウム放映中止
令和2年4月14日	コロナ対策：臨時休館
令和2年4月23日	YouTubeチャンネル開設
令和2年5月26日	開館（休館：43日間）プラネタリウム再開は6月2日



平成30年5月9日 ドローンによる撮影

## 2. 視聴覚教育センター施設概要

所在地 豊橋市大岩町字火打坂19の16  
 開設 昭和49年10月9日  
 敷地面積 13,291㎡  
 建物延面積 3,293.265㎡  
 構造 鉄筋コンクリート造2階建（一部地下1階）  
 プラネタリウム（15mドーム）併設  
 工期 昭和48年10月13日着工、昭和49年8月31日しゅん工  
 事業費 43,593万円  
 主な施設

室名	面積(㎡)	室数	収容人員(人)	室名	面積(㎡)	室数	収容人員(人)
コントロールルーム	234	2		展示フロアー	225	1	
視聴覚ライブラリー				事務室	54	1	
教材制作室	12	1		保健室	15	1	
制作室	38	1		プラネタリウム	177	1	167
第1研修室（講堂）	372	1	240	教育工学室	169	1	56
第2研修室	138	1	90	実験室	416	4	各48
第3研修室	103	1	60	実験準備室	154	2	

開館時間(又は使用時間) 午前9時から午後4時30分まで

### 事業の概要

#### (1) 学習活動

児童を対象にして、わくわく体験活動（理科実験活動）を行う。

#### (2) 研修、研究活動

教職員及び社会教育指導者の資質と指導力の向上を図るため、計画的・自主的な研修、研究の場として活用する。

#### (3) 情報提供活動

教育の内容を豊かにし、教育活動を高めるために情報を提供する。

#### (4) 一般市民学習活動

一般市民に開放し、プラネタリウム観覧や科学展示品の操作等、楽しみながら学習する場として活用する。

### 使用料

区分	時間	午前	午後	全日
		午前9時 ～正午	午後1時 ～4時	午前9時 ～午後4時
第1研修室(講堂)		5,900円	5,900円	11,800円
第2研修室		2,940円	2,940円	5,880円
第3研修室		1,980円	1,980円	3,960円

\* 令和元年10月1日からの金額



区 分	プラネタリウム観覧料 (1人1回)		個人利用において学齢に達しない者は、保護者1人につき1人に限り無料。 ※東三河広域連合が実施する「ほの国こどもパスポート事業」の対象者は無料。
	個人利用	団体利用 (30人以上)	
大人	300円	240円	
小人(中学生以下)	100円	80円	

### 3. 地下資源館施設概要

所在地 豊橋市大岩町字火打坂19の16  
 開設 昭和55年11月1日  
 敷地面積 2,200㎡  
 建物延面積 2,007.97㎡  
 構造 鉄筋コンクリート(地上1階 地下1階)  
 事業費 71,560万円  
 主な施設

室 名	面積(㎡)	室数	室 名	面積(㎡)	室数
導入トンネル	131	1	展示室(地下1階)	509	1
事務室	26	1	収蔵庫	106	2
ラウンジ・ホール	261	1	工作室	43	1
展示室(1階)	510	1	屋上・エレベーター室	34	1
世界の鉱物鉱石展示室	122	1	機械室・電気室	104	2

開館時間 午前9時から午後4時30分まで

展示の概要

1階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国、アメリカ、オーストラリアをはじめ、世界各国の鉱物、鉱石を展示する「世界の鉱物・鉱石展示室」</li> <li>・地下資源はどのようなもので、どのようにしてさがしたり、掘り出すか。また、地下資源の現況を知るコーナー</li> <li>・金属資源の精錬、製品化の過程や利用などを知るコーナーなど</li> </ul>
地下1階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石灰岩、石炭、石油をはじめとする非金属資源の掘り出し方、精錬、製品化の過程や利用などを知るコーナー</li> <li>・未来の資源・エネルギーにはどんなものがあり、それをどこに求めるか。また、省資源についての認識を深め、展示学習のまとめをするコーナーなど</li> </ul>

登録資料件数(岩石・鉱物) 1,680件

#### 4. 職員

科学教育センター（令和2年3月31日現在）

役職名		氏名
事務長		河合俊夫
事務長補佐		牧野洋偉
センター長	学芸員(嘱託員)	家田健吾
事業推進グループ	学芸員	栗橋 潤
	学芸員	杉浦裕紀
	主事	岩田庸宏
	嘱託員	縣章子
	嘱託員	鈴木康弘

#### 5. 令和元年度決算

歳入

単位：円

予算現額	決算額	内 訳
観覧料等 6,130,000	3,135,250	プラネタリウム 3,009,920円 施設使用料 125,330円
諸使用料 20,000	17,313	無線設備敷地使用料12,390円 飲料水敷地使用料 423円 電柱敷地使用料3,000円（西日本電信電話）・1,500円（豊橋ケーブルネットワーク）
講座等収入 723,000	563,200	
地下資源館 607,000	458,000	万華鏡：60,600円、糸電話35,900円、浮沈子：9,500円、マグネツム電池：22,500円、望遠鏡：67,500円、スカイクリュー：36,300円、パタパタ飛行機19,000円、レモン電池：14,400円、ソーラー工作30,800円、ロボットを作ろう40,800円、ゴム飛行機23,200円、風船ヘリコプター：2,400円、LED工作：18,000円、空気砲：9,300円、ストーンハンティング（新）56,000円、クリップクレーン（新）：3,300円、シャボン玉（新）：8,500円
視聴覚教育センター 116,000	105,200	科学実験クラブ：40,000円、星座早見盤：20,900円、缶バッジ（新）：44,300円
広告料収入 5,000	530	7月 530円
電話収入 1,000	0	
行政財産目的外使用等収入 170,000	129,188	
地下資源館 10,000	10,696	無線設備光熱水費収入
視聴覚教育センター 160,000	118,492	自動販売機光熱水費収入
合計 7,049,000	3,845,481	

#### 【参考】

ボルネオへの恩返しプロジェクト自動販売機寄付額

H30	R1	合計
5,573円	28,488円	34,061円

※平成30年11月に設置：売り上げの10%をプロジェクトに寄付

令和元年度歳出決算

	10款1項8目 科学教育施設費		同9目科学教育推進費		計	合計
	科学教育センター施設管理事業費		科学教育センター事業費			
	職員人件費	視聴覚教育センター施設管理事業費	視聴覚教育センター事業費	地下資源館事業費		
01 報酬		3,648,684	0	3,648,684	0	3,648,684
02 給料	18,001,464	0	0	18,001,464	0	18,001,464
03 職員手当等	11,499,943	0	0	11,499,943	0	11,499,943
04 共済費	5,863,422	620,017	4,053	6,487,492	103	894,559
07 賞金		1,106,416	1,318,226	2,424,642	0	34,910
08 報償費		0	0	0	99,000	198,000
09 旅費		0	0	0	73,180	52,200
11 需用費		5,209,337	6,594,238	11,803,575	996,088	1,384,816
消耗品費		268,963	436,032	704,995	462,288	1,328,816
燃料費		1,779	53,916	55,695	0	0
食糧費		0	0	0	0	2,000
印刷製本費		12,320	0	12,320	533,800	54,000
光熱水費		2,130,085	2,361,842	4,491,927	0	0
修繕料		2,794,600	3,742,448	6,537,048	0	0
医薬材料費		1,590	0	1,590	0	0
12 役務費		291,998	212,065	504,063	0	0
13 委託料		4,410,155	3,077,048	7,487,203	7,514,200	7,514,200
14 使用料及び賃借料		102,742	0	102,742	3,158,352	162,648
15 工事請負費		0	0	0	0	0
16 原材料費		17,204	8,000	25,204	0	0
18 備品購入費		1,603,800	0	1,603,800	494,019	494,019
19 負担金、補助及び交付金		1,350	420	1,770	15,000	45,000
27 公課費		0	8,800	8,800	0	0
合計	35,364,829	17,011,703	11,222,850	63,599,382	18,607,563	20,386,240
					1,778,677	83,985,622

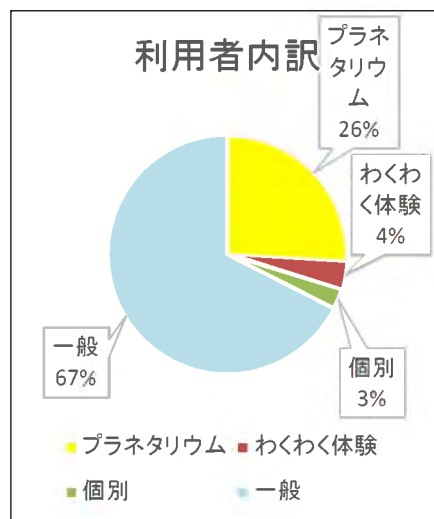
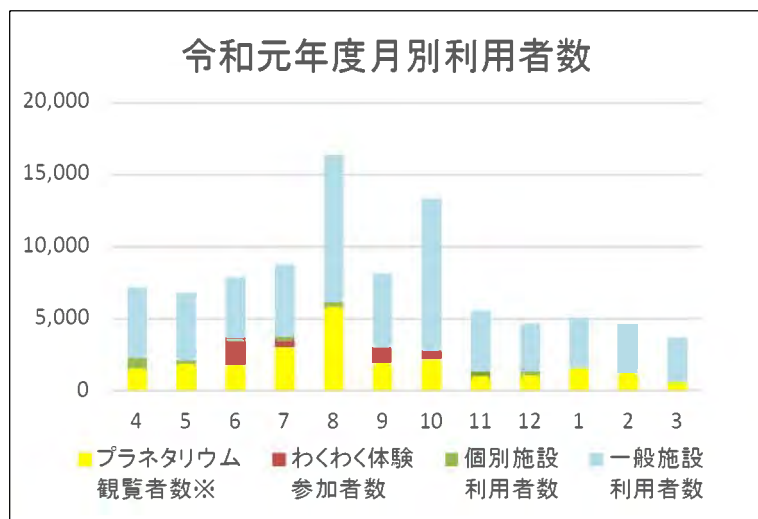
## 6. 利用状況

### (1) 地下資源館・視聴覚教育センター月別利用状況

(単位：人)

	プラネタリウム 観覧者数※	わくわく体験 参加者数	個別施設 利用者数	一般施設 利用者数	合計
4	1,597		706	4,908	7,211
5	1,898	28	190	4,739	6,855
6	1,820	1,557	200	4,335	7,912
7	3,062	403	296	5,017	8,778
8	5,858		316	10,201	16,375
9	1,953	957	92	5,173	8,175
10	2,222	495	90	10,582	13,389
11	1,055	37	277	4,207	5,576
12	1,088		306	3,333	4,727
1	1,592		6	3,520	5,118
2	1,218		52	3,321	4,591
3	609			3,099	3,708
計	23,972	3,477	2,531	62,435	92,415
割合	25.9%	3.8%	2.7%	67.6%	100.0%

※このプラネタリウム観覧者数にはわくわく体験でのプラネタリウム観覧を含まず。



※個別施設利用者：研修室等の利用申請書を提出して利用した者

区分	年度	日にち	人数	備考
最多入館者/日	H30	10月21日	3,641人	子どものための科学展2日目
	R元	10月19日	4,041人	子どものための科学展初日
最多観覧者/日	H30	8月16日	442人	お盆(木曜日)
	R元	10月22日	556人	即位礼正殿の儀無料開放

(2) 視聴覚教育センター・地下資源館 年度別利用状況

※平成22年度までの統計は視聴覚教育センター分として公表してきたもの。平成23年度からは、視聴覚教育センター入館者数（下表の「計」）と地下資源館入館者数を同数とする。

(単位：人)

年度	学 習	一般・研修等	プラネタリウム※	計	月平均
49	8,366	10,030	9,111	27,507	4,585
50	9,610	16,494	11,048	37,152	3,096
51	9,797	23,060	14,515	47,372	3,948
52	10,635	20,346	15,001	45,982	3,832
53	11,434	23,104	18,518	53,056	4,421
54	10,615	27,968	16,756	55,339	4,612
55	9,977	27,268	19,930	57,175	4,765
56	10,881	24,567	25,456	60,904	5,075
57	11,113	19,788	25,141	56,042	4,670
58	11,328	18,679	23,666	53,673	4,473
59	12,027	20,072	22,281	54,380	4,532
60	12,416	19,016	24,130	55,562	4,630
61	11,938	28,023	18,872	58,833	4,903
62	11,908	30,586	18,355	60,849	5,071
63	11,223	22,184	16,704	50,111	4,176
平成元	10,740	28,744	11,539	51,023	4,252
2	10,121	25,101	31,554	66,776	5,565
3	10,056	24,174	27,101	61,331	5,111
4	9,512	29,351	28,012	66,875	5,573
5	9,345	26,046	23,978	59,369	4,947
6	4,568	31,316	27,472	63,356	5,280
7	4,610	34,822	28,933	68,365	5,697
8	4,539	33,396	24,216	62,151	5,179
9	4,522	37,042	22,915	64,479	5,373
10	4,241	30,059	22,026	56,326	4,694
11	4,141	34,895	20,167	59,203	4,934
12	4,140	41,843	21,796	67,779	5,648
13	3,968	41,696	22,501	68,165	5,680
14	3,605	35,212	21,174	59,991	4,999
15	3,869	37,392	27,636	68,897	5,741
16	3,945	39,451	30,654	74,050	6,171
17	3,986	39,263	23,898	67,147	5,596
18	3,900	39,355	26,942	70,197	5,850
19	3,270	42,480	27,300	73,050	6,088
20	3,492	41,932	24,245	69,669	5,806
21	3,277	43,119	30,043	76,439	6,370
22	3,614	43,916	24,400	71,930	5,994
23	3,403	71,901	29,983	105,287	8,774
24	3,823	68,168	27,715	99,706	8,309
25	3,589	61,533	25,240	90,362	7,530
26	3,268	65,421	27,545	96,234	8,020
27	3,280	62,409	22,232	87,921	7,327
28	3,511	61,572	22,628	87,711	7,309
29	3,648	56,764	21,768	82,180	6,848
30	3,348	56,935	25,611	85,894	7,158
令和元	3,477	64,966	23,972	92,415	7,701
前年比	3.9%	14.1%	-6.4%	7.6%	7.6%
平均	6,784	36,553	22,928	66,266	5,572

※このプラネタリウム観覧者数にはわくわく体験でのプラネタリウム観覧を含まず。

(3) 地下資源館 年度別利用状況（昭和55年度～平成22年度）

※地下資源館は視聴覚教育センターと接続した建物であり、一体的運営をしていることから、平成23年度から前ページのとおり統計を一本化した。

(単位：人)

年度	個人	団体	わくわく体験	計	月平均
55	30,291	8,625	2,366	41,282	8,256
56	47,329	17,812	10,221	75,362	6,280
57	36,098	17,660	10,594	64,352	5,363
58	33,891	11,882	10,943	56,716	4,726
59	41,899	12,502	11,251	65,652	5,471
60	44,652	11,727	11,977	68,356	5,696
61	35,735	11,350	11,859	58,944	4,912
62	43,833	8,553	11,609	63,995	5,333
63	33,254	8,169	10,947	52,370	4,364
元	30,848	4,744	10,740	46,332	3,861
2	48,645	6,624	10,121	65,390	5,449
3	38,754	7,494	10,056	56,304	4,692
4	39,631	6,238	9,512	55,381	4,615
5	39,264	5,417	9,345	54,026	4,502
6	40,104	4,739	4,568	49,411	4,118
7	42,762	6,157	4,610	53,529	4,461
8	32,258	4,711	4,539	41,508	3,773
9	37,568	5,228	4,522	47,318	3,943
10	40,014	5,084	4,241	49,339	4,112
11	36,905	4,086	4,141	45,132	3,761
12	39,094	4,152	4,140	47,386	3,949
13	39,950	5,225	3,968	49,143	4,095
14	35,765	3,730	3,605	43,100	3,592
15	41,464	3,785	3,869	49,118	4,093
16	45,784	3,293	3,602	52,679	4,390
17	39,935	2,637	2,590	45,162	3,764
18	46,570	3,518	2,815	52,903	4,409
19	44,578	4,106	1,910	50,594	4,216
20	43,000	4,162	2,657	49,819	4,152
21	47,821	3,375	2,234	53,430	4,453
22	44,575	3,022	2,236	49,833	4,153

(4) プラネタリウム利用状況

単位：人 単位：回

	有料個人				割引団体&個人				ほの国こどもパスポート			無料団体&個人				わくわく体験			プラネ観覧者	投映回数
	大人	小人	シルバー	計	大人	小人	シルバー	計	市内	市外	計	大人	小人	シルバー	計	大人	小人	計		
4	667	258	32	957					215	45	260	75	305		380				1,597	51
5	701	213	22	936	77			77	199	35	234	91	560		651	4	24	28	1,926	56
6	606	176	21	803					133	28	161	92	764		856	92	1,465	1,557	3,377	72
7	1,067	308	32	1,407					498	54	552	272	831		1,103	23	380	403	3,465	84
8	2,340	887	77	3,304					1,034	216	1,250	218	1,086		1,304				5,858	114
9	793	220	29	1,042					267	68	335	80	490	6	576	72	885	957	2,910	72
10	548	118	8	674	5	135		140	214	26	240	372	796		1,168	107	388	495	2,717	74
11	431	99	16	546					112	13	125	75	309		384	2	35	37	1,092	54
12	387	134	10	531					122	36	158	115	284		399				1,088	63
1	613	142	15	770					99	26	125	139	558		697				1,592	68
2	496	113	12	621					118	25	143	61	393		454				1,218	56
3	276	69	6	351	1			1	95	5	100	46	111		157				609	65
計	8,925	2,737	280	11,942	83	135		218	3,106	577	3,683	1,636	6,487	6	8,129	300	3,177	3,477	27,449	829

※令和元年7月より土日祝日の投映を3回から4回へ拡大

一般観覧者数(わくわくを除く)

年度	観覧者	
元	23,972人	
30	25,611人	
増減	△1,639人	-6.4%

観覧者数(全体)

年度	観覧者	
元	27,449人	
30	28,959人	
増減	△1,510人	-5.2%

※プラネタリウム無料開放

区 分	日 程	投映回数	観覧者数	番 組
即位礼正殿の儀	10月22日	5回	556人	忍たま乱太郎(4回)、えんとつ町のプペル(1回)
視聴堂開館40周年記念	12月22日～1月28日	10回	258人	宇宙エレベーター



(5) プラネタリウム作品別実績（一般投映分：特別投映を除く）

令和元年度

	観覧者数	順位	投映回数	平均	順位
クレヨンしんちゃん	7,533人	第1位	157回	48.0人	第3位
忍たま乱太郎	3,871人	第2位	149回	26.0人	第4位
えんとつ町のプペル	3,821人	第3位	183回	20.9人	第7位
ドラえもん	1,966人	第4位	38回	51.7人	第1位
ポケットモンスター	1,892人	第5位	39回	48.5人	第2位
地球外生命を求めて	839人	第6位	38回	22.1人	第6位
コズミックフロント	405人	第7位	25回	16.2人	第9位
生解説	328人	第8位	16回	20.5人	第8位
月、その先の宇宙へ	295人	第9位	29回	10.2人	第10位
宇宙エレベーター※1	258人	第10位	10回	25.8人	第5位
Feel the Earth	198人	第11位	37回	5.4人	第11位
	21,406人		721回	29.7人	

※1 宇宙エレベーターは開館記念特別無料投映

平成30年度（上位3作品）

作品名	入場者数	順位	投映回数	平均	順位
ドラえもん	9,076人	第1位	121回	75.0人	第1位
ポケットモンスター	5,508人	第2位	81回	68.0人	第2位
くまのがっこう	472人	第3位	7回	67.4人	第3位



## (6) プラネタリウム投映番組

年度	投映番組
平成元	「春のおもな星座」「昔の人が考えた宇宙」「おとめ座にまつわる神話」「夏のおもな星座」「星の姿について」「こと座にまつわる神話」「秋のおもな星座」「宇宙について」「ペルセウス座の神話」
2	「春のおもな星座」「惑星の概要」「地球とその環境」「夏のおもな星座」「ヘルクレス座の神話」「銀河について」「月を観る時代から暮らす時代まで」「秋のおもな星座」「冬のおもな星座」「星座、星団にみる星の一生」「オリオンとプレアデスの神話」「星座のでき方」「動物の星座」「ヘルクレス座の神話」
3	「春のおもな星座」「南天の星座」「さそり座のポロネシア民話」「夏のおもな星座」「夏に見える星座」「秋のおもな星座」「他の星の環境」「地球の環境問題」「冬のおもな星座」「星占い」の星座」「星占い」の起源とその占う方法」「星座のでき方」「動物の星座」「ヘルクレス座の神話」「こと座の神話」「七夕のおはなし」
4	「春のおもな星座」「銀河系外宇宙」「夏のおもな星座」「宇宙の歴史」「地球資源と人口問題」「秋のおもな星座」「アンドロメダ座、こと座の神話」「冬のおもな星座」「冬に見える星雲、星団・水星、金星の年周運動」「星座のでき方」「動物の星座」「ヘルクレス座の神話」「こと座の神話」「七夕のおはなし」「月の見え方や月の世界」「王様とランプの話」
5	「春のおもな星座」「金星についての説明」「夏のおもな星座」「流れ星の説明・さそり座の神話」「秋のおもな星座」「月の説明」「人口問題」「冬のおもな星座」「冬に見える星雲・星団」「ノアの箱船の話」「おとめ座の神話」「こと座の神話」「七夕のはなし」「月の見え方や月の世界」「王様とランプの話」「動物の星座」「ヘルクレス座の神話」「自然環境問題」
6	「ノアの箱舟」「恐竜絶滅のなぞ」「果てしなき旅へ」「冬の星座と南の星たち」「アラジンの大冒険」「お星様と一緒に」「宇宙船に乗って」「空の動物園」「マコちゃんの春」
7	「アラジンの大冒険」「恐竜惑星」「マジックオブリング」「アルゴ冒険伝」「シンドバッドの冒険」「お星さまといっしょに」「宇宙船に乗って」「空の動物園」「マコちゃんの春」
8	「シンドバッドの冒険」「ぼくらの宇宙大作戦～スペースキャット・ミャールとの出会い」「ぼくらの宇宙大作戦～スペースキャット・ミャールの惑星」「ぼくらの宇宙大作戦～スペースマウス・チューイとの対決」「ぼくらの宇宙大作戦～さよならミャール」「お星さまといっしょに」「宇宙船に乗って」「空の動物園」「マコちゃんの春」
9	「ぼくらの宇宙大作戦～さよならミャール」「アイズ・オブ・ハッブル～ハッブル宇宙望遠鏡の挑戦～」「ブラックホール～スペースキッズの大冒険～」「流星の謎」「かなちゃんの不思議探検～地球誕生～」「お星さまといっしょに」「宇宙船に乗って」「空の動物園」「マコちゃんの春」
10	「かなちゃんの不思議探検～地球誕生～」「よみがえった巨大恐竜」「木星VS土星～あなたはどっちが好きですか?～」「星のこどもたち～宇宙も生きている～」「からくりの空～宇宙はどうなっているの～」「お星さまといっしょに」「宇宙船に乗って」「空の動物園」「マコちゃんの春」
11	「からくりの空～宇宙はどうなっているの～」「共に生きる～時の流れとは何だろうか～」「星空のレストラン」「帰ってきたゴン～子供の好きな神様～」「星空のかんむり」「お星さまといっしょに」「宇宙船に乗って」「空の動物園」「マコちゃんの春」
12	「星空のかんむり」「それいけ!アンパンマン～星空をかえせ～」「ゴンの秋物語～コタンの星の巻～」「ぼん太の冬物語～吾作とタヌキの親子～」「妖怪ポストに聞いてみよう～目玉おやじのなぜなぜ子供相談室」「お星さまといっしょに」「宇宙船に乗って」「空の動物園」「マコちゃんの春」
13	「妖怪ポストに聞いてみよう～目玉おやじのなぜなぜ子供相談室」「それいけ!アンパンマン～12星座をすくいだせ～」「ぬすまれた月」「ゴンの冬物語～ごんごろ鐘の話～」「春を取りもどせ～ピッチとロンの大冒険」「お星さまといっしょに」「宇宙船に乗って」「空の動物園」「マコちゃんの春」
14	「春を取りもどせ～ピッチとロンの大冒険」「それいけ!アンパンマン～SLマンと星をうつそう～」「銀河鉄道999～消えた太陽系～」「星空パトロール隊」「ヘルメスと行く～デューメテルの物語」「お星さまといっしょに」「宇宙船に乗って」「空の動物園」「マコちゃんの春」
15	「ヘルメスと行く～デューメテルの物語」「とっとこハム太郎「とっとこ楽しい星空カンソク」「ののちゃんと星を見よう!」「星占いの星座たち～あかねとハヤミーの不思議な冒険～」「お星さまといっしょに」「ミッフィーと星のおはなし」「マコちゃんの春」



年度	放映番組
16	「星占いの星座たち～あかねとハヤミーの不思議な冒険～」 「ポケットモンスター アドバンスジェネレーション プラネタリアム 天空からの挑戦」 「星の流れる森～ぼのぼのと宮沢賢治の世界～」 「モンゴル・草原伝説 スーホの白い馬」 「もっと不思議の国のアリス」 「お星さまといっしょに」 「宇宙船に乗って」 「空の動物園」 「マコちゃんの春」
17	「もっと不思議の国のアリス」 「とっとこハム太郎 はむはむばらだいちゅ とっとこフワフワ 星空散歩」 「イヌのヒロシ」 「ひょんたんの宇宙 宝さがし」 「星空のおんがくたい」 「お星さまといっしょに」 「宇宙船に乗って」 「空の動物園」 「マコちゃんの春」
18	「星空のおんがくたい」 「ポケットモンスター アドバンスジェネレーション あつまれ！ポケモン・プラネットセンター」 「ともだちは海のにおい」 「ゴンの冬物語～白い手袋～」 「アラジンの大冒険」 「お星さまといっしょに」 「宇宙船に乗って」 「空の動物園」 「マコちゃんの春」 「春をとりもどせ ピッチとロンの大冒険」
19	「アラジンの大冒険」 「ワンピース「宇宙っておもしろえ！ 星空島編」」 「ぜんまいざむらい～こよいからくり天文館開演～」 「ゴンからのたより～ごんぎつね～」 「しらさぎくんの大冒険」 「お星さまといっしょに」 「宇宙船に乗って」 「空の動物園」 「マコちゃんの春」
20	「しらさぎくんの大冒険」 「忍たま乱太郎～星に誓った友情物語の段～」 「きかんしゃトーマスとなかまたち～夜空には星がいっぱい～」 「ぼん太の冬物語～吾作とタヌキの親子～」 「ピーターパンVSフック船長～星空の対決」 「春をとりもどせ！～ピッチとロンの大冒険～」 「お星さまといっしょに」 「宇宙船に乗って」 「空の動物園」 「アラジンの大冒険」
21	「ピノキオのぼうけん～星のおくりもの～」 「ドラえもん宇宙ふしぎ大探検」 「New Horizons「新しい地平線」」 「ゴンの冬物語 雪の上の足跡」 「クレヨンしんちゃん かすかべ防衛隊 宇宙クイズで勝負だゾ！」 「アラジンの大冒険」 「お星さまといっしょに」
22	「クレヨンしんちゃん かすかべ防衛隊 宇宙クイズで勝負だゾ！」 「それいけ！アンパンマン 星の色と空の色」 「仮面ライダー 恐怖の地球温暖化計画」 「スペースエイジ 宇宙を目指すものたち」 「おじゃる丸 まったりプラネタリアム」 「黒い太陽 皆既日食の謎を追って」 「アラジンの大冒険」 「お星さまといっしょに」
23	「クレヨンしんちゃん かすかべ防衛隊、宇宙クイズで勝負だぞ！」 「それいけ！アンパンマン 星の色と空の色」 「仮面ライダー 恐怖の地球温暖化計画」 「スペースエイジ 宇宙を目指すものたち」 「おじゃる丸 まったりプラネタリアム」 「黒い太陽 皆既日食の謎を追って」 「アラジンの大冒険」 「お星さまといっしょに」
24	「仮面ライダー 恐怖の地球温暖化計画」 「スペースエイジ 宇宙を目指すものたち」 「おじゃる丸 まったりプラネタリアム」 「黒い太陽 皆既日食の謎を追って」 「秘密結社鷹の爪 ブラブラ！ブラックホール謎」 「ディーブワンダー 宇宙と深海のはるかな旅」 「はるかなる木星へ」 「宇宙エレベーター 2061年豊橋から宇宙の旅」 「ガンダム新体験-0087 グリーンダイバーズ」 「宇宙の謎に挑む」 「はじめての宇宙(春)」
25	「宇宙エレベーター 2061年豊橋から宇宙の旅」 「ガンダム新体験-0087 グリーンダイバーズ」 「宇宙の謎に挑む」 「もぐらのプラトン」 「名探偵コナン 星影の魔術師」 「宇宙 未知への大紀行」 「夜明けのほうき星」 「オーロラ 夜空を彩る光のダンス」 「葉っぱのリーフのものがたり」
26	「葉っぱのリーフのものがたり宇宙」 「未知への大紀行オーロラ」 「夜空を彩る光のダンス」 「名探偵コナン星影の魔術師」 「しまじろうとたんじょうびのおほしさま」 「ドラえもん「宇宙ふしぎ大探検2」 太陽系のひみつ」 「星の王子さま」 「ムーンライトアドベンチャー」 「コズミックジャーニー 遥かなる銀河への旅」 「星を見に行こう はるかな星たちの森へ」 「惑星ワンダーズ」 「豊川からアルマ望遠鏡へ 宇宙(そら)へと続く道」 他
27	「惑星ワンダーズ」 「ムーンライトアドベンチャー」 「星の王子さま」 「しまじろうとたんじょうびのおほしさま」 「ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2」 「おじゃる丸 銀河がマロを呼んでいる」 「名探偵コナン 探偵たちの星月夜」 「みずものがたり」 「コズミックフロント ファーストスター誕生」 「スターオーシャン 太陽系外惑星への航海」 「星うさぎと月のふね」
28	「星うさぎと月のふね」 「スターオーシャン」 「おじゃる丸」 「コズミックフロント」 「妖怪ウォッチ」 「ロケット打ち上げ」 「ちびまる子ちゃん」 「ノーマン・ザ・スノーマン」 「宇宙へのパスポート」 「宇宙エレベーター・十二星座物語」 「Back To The Moon For Good」
29	「ちびまる子ちゃん」 「ノーマン・ザ・スノーマン」 「妖怪ウォッチ」 「宇宙へのパスポート」 「宇宙エレベーター」 「バックトゥザムーン」 「しまじろう」 「ロケット打ち上げ」 「忍たま乱太郎」 「みずものがたり」 「美しき地球」 「カラフル太陽ツアー」 「スペースネクスト」 「プラネタリアン」 「十二星座物語」 「くまのがっこう」 「時間空間を超える小宇宙」

年度	放映番組
30	「宇宙へのパスポート」「くまのがっこう」「忍たま乱太郎」「宇宙エレベーター」「しまじろう」「時間空間を超える小宇宙」「ポケットモンスターサン&ムーン」「ドラえもん宇宙ふしぎ大体験3」「火星～火星大接近2018/赤い惑星の謎」「HAYABUSA2」「それいけアンパンマン星の色と空の色」「地球外生命を求めて」「Feel the Earth」
令和元	「忍たま乱太郎」「宇宙エレベーター」「ポケットモンスターサン&ムーン」「ドラえもん宇宙ふしぎ大体験3」「地球外生命を求めて」「Feel the Earth」「クレヨンしんちゃん星空と学校の七不思議だゾ」「えんとつ町のプペル」「コズミックフロント時間旅行」「月、その先の宇宙へ」「星空生解説」

(7) 視聴覚教育センター施設利用状況

		第1研修室				第2研修室				第3研修室			
月	貸出可能日数	午前		午後		午前		午後		午前		午後	
		有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料
4月	26	2	0	4	1	2	2	4	4	0	6	0	6
5月	27	0	0	0	0	0	13	0	4	0	1	0	2
6月	26	0	10	0	2	0	15	0	6	0	8	0	2
7月	26	0	4	0	9	0	11	0	12	0	17	0	12
8月	28	0	2	0	15	0	16	0	14	0	31	0	31
9月	25	0	7	0	11	0	10	0	5	0	6	0	1
10月	26	0	4	0	6	0	6	0	3	0	6	0	4
11月	26	0	2	0	7	0	10	0	5	0	4	0	4
12月	24	0	1	0	7	0	4	0	5	0	12	0	9
1月	26	0	1	0	9	0	4	0	5	0	12	0	8
2月	25	0	0	0	9	0	10	0	3	0	0	0	1
3月	26	0	0	0	4	0	4	0	0	0	6	0	6
合計	311	2	31	4	80	2	105	4	66	0	109	0	86
		33		84		107		70		109		86	
稼働率1		10.6%		27.0%		34.4%		22.5%		35.0%		27.7%	
部屋計		117				177				195			
稼働率2		18.8%				28.5%				31.4%			
全体計		489											
稼働率3		26.2%											

※利用回数は、半日を1コマとする。(1コマ=貸出の最小単位)

## 7. 主要事業の実績

### (1) 視聴覚教育センター

#### [利用状況]

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
開館日数	312日	311日	△0.3%
入館者数	延 85,894人	延 92,415人	7.6

#### [施設整備]

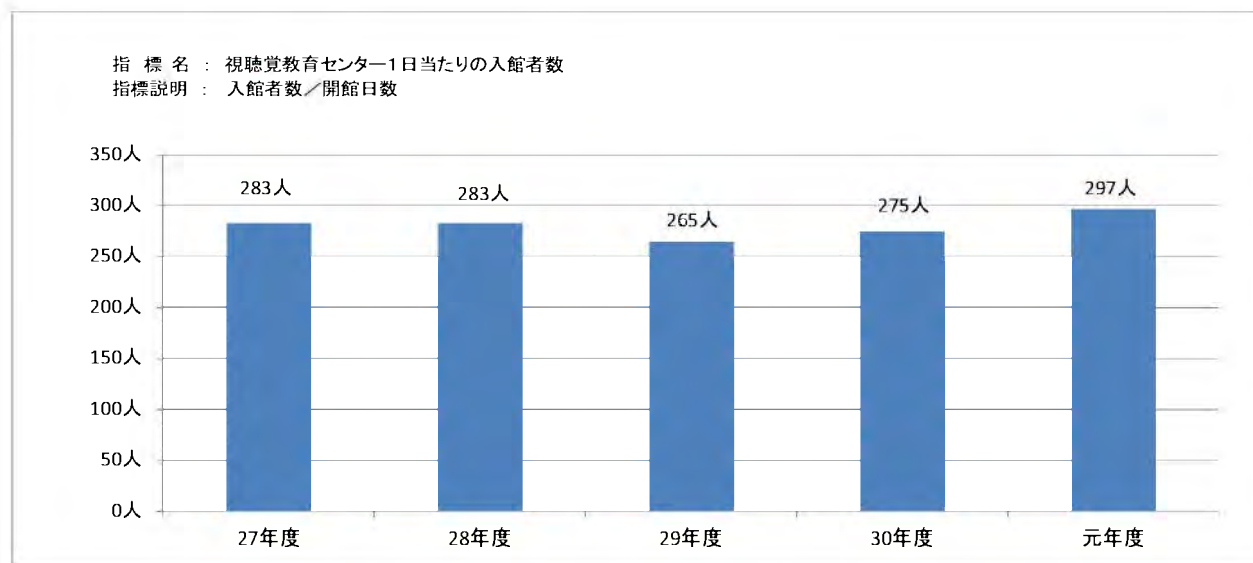
内 容	平成30年度	令和元年度
	光電式スポット型感知器の取り換え プラネタリウムUPS修繕等	

#### [各種活動] 詳細はP24

区 分	平成30年度		令和元年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月～11月	参加人員 3,348人	5月～11月	参加人員 3,477人
プラネタリウム投映※	674回	観覧者数 28,959	829回	観覧者数 27,449
学 習 教 室	4月～3月(58回)	参加人員 1,736	4月～2月(117回)	参加人員 3,399
星 空 観 望 会	5月～3月(7回)	" 900	8月～2月(6回)	" 295
展 示 会	6月～12月(1回)	入場者数 52,170	4月～3月(8回)	入場者数 84,667

※観覧者数にわくわく体験活動の参加人員を含めて、平成30年度から算定し直した。

#### [指 標]



区 分	日にち	備 考
臨時休館	10月12日	台風19号のため
臨時開館	8月12日	お盆
	1月2日	正月
	1月3日	正月

※このほか令和元年度は5月1日が祝日になったため4月23日～5月6日まで14日間連続開館した。(施行規則の規定上、1日休館日が無くなった。)

## (2) 地下資源館

### [施設整備]

内 容	平成30年度	令和元年度
	1階展示室改修 誘導灯、外壁修繕	

### [各種活動] 詳細はP25

区 分	平成30年度	令和元年度
学 習 教 室	4月～3月 (279回) 参加人員 9,756 人	4月～3月 (270回) 参加人員 8,689 人
小学生サイエンスアイデア作品展※	10.13～11.11 (26日間) 展示点数 761点 入場者数12,682人	9.21～11.10 (43日間) 展示点数 571点 入場者数19,130人
企 画 展	3月 入場者数 4,915 人	4月～9月 入場者数 47,588 人 3月 入場者数 1,111
展 示 会	—	7月～9月 (1回) 入場者数 22,505

※平成30年度は「資源をくらしに生かす創意工夫展」

### [指 標]





## Ⅱ 事業概要

### 1. わくわく体験活動

#### (1) 概 要

わくわく体験活動は、学校では実現しにくい学習環境を提供している。体験的・発見的な活動を通して理科や社会科の学習意欲を高める目的で、豊橋市内の小学4年生（52校）を対象としている。各学校の希望により、活動の場所が選択されており、当施設がその中心となっている。

視聴覚教育センターでは、微生物の顕微鏡観察、プラネタリウム学習番組の観覧、科学展示物等の学習を実施し、地下資源館では、展示物の見学を行っている。

#### (2) 実施期間と参加者数

実施期間	参加校	人数
5月～11月	49校	3,477人

#### (3) 学習内容

##### ① プラネタリウム学習（40分）

	ポケットモンスター サン&ムーン（7月7日まで）
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> <li>地球・月・太陽の位置について知る。</li> <li>日食がおきる仕組みを知る。</li> <li>天動説から地動説に至る天文学の流れを知る。</li> <li>夏の星座について知る。</li> </ol>
	スペースヒーローズ（7月8日以降）
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> <li>春夏秋冬の星座について知る。</li> <li>見える星座が季節によって変わることを知る。</li> <li>星の明るさについて知る。</li> <li>星座の成り立ちについて知る。</li> </ol>

##### ② 実験学習（85分）

	一滴に広がる世界
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> <li>ミクロの生物を観察する楽しさを味わい、小さな生き物の生きる姿のすばらしさやたくましさにふれさせる。</li> <li>自分でプレパラートを作り顕微鏡で観察する活動を通して、顕微鏡の扱い方に慣れさせる。</li> </ol>
学習の流れ	<ol style="list-style-type: none"> <li>豊橋市内の田や池、川にすむ生き物の様子を見る。</li> <li>「魚は何を食べているのか」を友達と一っしょに考え、池や川の中に小さな生き物がいることに気づく。</li> <li>ミジンコ標本を顕微鏡で観察しながら、顕微鏡の使い方を練習する。</li> <li>2種類の微生物（ボルボックスとブレファリスマ）を顕微鏡で観察する。               <ol style="list-style-type: none"> <li>プレパラートを作る。</li> <li>顕微鏡で観察する。</li> <li>気づいたことを記録する。</li> </ol> </li> </ol>
	休 憩（10分）
流れ	<ol style="list-style-type: none"> <li>池にすむいろいろな微生物の映像をみる。</li> <li>池にすむ微生物を顕微鏡で観察する。               <ol style="list-style-type: none"> <li>プレパラートを作る。</li> <li>顕微鏡で観察する。</li> <li>気づいたことを記録する。</li> </ol> </li> <li>すべての生き物が関わり合って生きていることを知り、学習のまとめをする。</li> <li>あとかたづけをする。（10分）</li> </ol>

## 2. 小学生サイエンスアイデア作品展（第1回）

〔趣 旨〕 科学的な考え方や知識をもとに、くらしに役立つ作品、発想や科学を楽しむ作品などを製作することで、科学に興味を持ち、もの作りや創意工夫の楽しさを知ってもらい、理科好きな子どもたちを育成する。

〔応募〕 571点（市内小学校51校）

〔入賞作品〕 44点

〔展示期間〕 令和元年9月21日（土）～11月10日（日）〔43日間〕

〔会場〕 地下資源館1階、地下1階（観覧無料）

〔表彰式〕 令和元年10月12日（土）（悪天候のため中止）

〔下記期中入館者数〕 19,130人

**最優秀賞(1作品)**

豊 4年 田尾翼光 「風の流が見える箱」

車の空気抵抗を調べるための実験装置(風洞)です。後方の小型ファンと煙によって気流が可視化されます。前方にメッシュを設置することで気流の乱れを抑えています。模型を使った実験も行っています。

<p><b>優秀賞(6作品)</b></p>		
<p>豊 4年 宮崎妃菜 「雨ふり探知機」</p>	<p>花田 4年 渡邊桃菜 「サンプルさいしゅうするはやぶさ2」</p>	<p>羽根井 2年 久保田葉生 「くるくる回る夏のプラネタリウム」</p>
<p>栄 6年 宮崎萌愛 「おどる塩の花」</p>	<p>向山 6年 安江謙太郎 「ソーラーオーブン」</p>	<p>二川 3年 中野けんと 「リニアモーターカー」</p>
<p><b>審査員特別賞(2作品)</b></p>		
<p>大清水 6年 高橋琢真 「プリングルスで望遠鏡」</p>	<p>西郷 4年 稲垣瑠晟 「るいのからくり音楽風車」</p>	

その他 佳作 35作品



### 3. 企画展

#### (1) 「電気のおもしろ」

○開催期間：平成31年4月1日（月）～令和元年9月1日（日） [134日間]

※平成31年3月16日（土）から開催[全体で148日間]

○会場：地下資源館1階、視聴覚教育センター1階（観覧無料）

○内容：地下資源館1階展示室をリニューアルし、「電気のおもしろ」をさぐる50種類以上の実験装置を配置した。主なテーマは「静電気の発見」「電池の発明」「電気をつくる」姿を変える電気エネルギー」「情報をつたえる電気」など。装置を操作することで、科学の原理を楽しみながら体験し、自然科学への興味関心を高めた。

○令和元年度間入館者数：47,588人（企画展全体入館者数：52,503人）

#### (2) 「おもしろ材料の世界」

○開催期間：令和2年3月25日（水）～令和2年3月31日（火）

※令和2年8月30日（日）まで開催予定

（新型コロナウイルス対策のため令和2年4月11日～5月25日閉場、5月26日以降の再開後も接触展示物を大幅に削減し実施）

○会場：地下資源館1階、視聴覚教育センター1階（観覧無料）

○目的：楽しい実験などでくらしを支える材料を紹介し、創意工夫の楽しさ、科学の面白さを体感し、未来の「地球にやさしくらし」を創造する。

○期間中入館者数：1,111人（6日間：令和2年3月25日（水）～令和2年3月31日（火））

○展示構成と展示など：

##### ① ものは何からできている？

- ・宇宙・地球は何からできている  
（イン鉄、ヘリウム風船）
- ・ダイヤモンドとグラファイトの結晶構造



##### ② 材料くらべ

- ・フォーミュラカー、ロボコンのロボット、炭素繊維強化プラスチックなど



- ・材料クイズ・実験など（熱伝導、電気伝導実験など）

##### ③ 身近なおもしろ材料の世界

- ・ストーンペーパー、偏光フィルム、吸水ポリマー、衝撃吸収シート実験など



##### ④ 金属の世界

- ・金属クイズ、たたら製鉄、自由電子イメージ
- ・鉄・銅・アルミニウムの作り方と特徴など
- ・合金クイズ、磁性流体、形状記憶合金実験など



⑤ セラミックスの世界

- ・セラミックスクイズ、原料など
- ・霧発生など圧電セラミックス実験、太陽電池  
半導体センサー実験など



⑥ プラスチックの世界

- ・プラスチッククイズ、  
ポリエチレンの分子模型づくりなど
- ・水に浮き・沈むプラスチック、  
光ファイバー実験など



⑦ 材料の未来

- ・2050年どんな材料でどんなくらし？
- ・宇宙ゴミセンサー、パワーエレクトロニクスで無線給電の空飛ぶ車など
- ・カーボンナノチューブで宇宙エレベーターなど



#### 4. サイエンス講座

名古屋大学や豊橋技術科学大学等と連携して講師を招き、理工系の最先端科学技術を紹介するサイエンス講座を開催した。

年度	大学	講座名	開催日	受講者
29	豊橋技術科学大学	人間VSロボット バドミントン対決 機械工学系 鈴木新一元教授	6月18日	130人
		波動の力で動く未来の車 電気・電子情報工学系 大平孝教授	3月18日	26人
	名古屋大学	尿を使ったがん診断 工学研究科 安井隆雄助教	10月1日	50人
		重力波で見る宇宙 理学研究科 黒柳幸子特任教授	10月15日	120人
		宇宙線で挑むピラミッドの謎 理学研究科 森島邦博特任教授	11月5日	100人
	30	豊橋技術科学大学	ARのふしぎ 情報・知能工学系 菅谷保之准教授	9月9日
脳波と視線で遊ぼう 情報・知能工学系 南哲人准教授			3月10日	40人
電気のふしぎ べんりとふべん 電気・電子情報工学系 滝川浩史教授			3月24日	40人
名古屋大学		瞬くオーロラと宇宙のさえずり 宇宙地球環境研究所 三好由純教授	11月11日	30人
		過冷却液体の不思議 理学研究科 川崎猛史助教	11月23日	50人
		航空機を用いた台風の観測 宇宙地球環境研究所 坪木和久教授	12月2日	40人
元	豊橋技術科学大学	遊んで学べる無線通信 電気・電子情報工学系 上原秀幸教授	8月25日	32人
		ロボコンのロボットができあがるまで 機械工学系 佐野滋則准教授	3月15日	コロナにより中止
	名古屋大学	真夏の南極ってどんなところ？ 宇宙地球環境研究所 栗田直幸准教授	11月3日	30人
		電気はクルマに、船に、飛行機に！ 工学研究科 今岡淳助教（山本真義教授代理）	12月1日	35人
		人と協働するロボット 工学研究科 舟洞佑記助教	12月22日	20人

5. 視聴覚教育センター事業一覧

名称	内容	期間
<b>【わくわく体験活動】</b>		
市内小学校4年生(実験学習, プラネタリウム学習)	参加者数 (49校) 3,477人	5/28~11/22
<b>【プラネタリウム投映】 (わくわく体験活動を含む)</b>	観覧者数 (829回) 27,449人	
<b>【学習教室】</b>	参加者数 (117回) 3,399人	
ゆめたまご科学講座		
・電気工作クラブ (6回講座×2回, 補講有) (@3,000円: 材料は講師(ホウ)が準備)	参加者数 (19回) 363人	5/25~2/15
・科学実験クラブ(4回講座×2回 @2,000円)	参加者数 (8回) 140人	6/22~8/3
ワークショップ		
・科学とアートの積み木あそび	参加者数 (2回) 400人	4/27・9/23
・サイエンスアクアリウム(@100円)	参加者数 (9回) 272人	7/6~8/14
・天体望遠鏡をつくろう(@2,500円)	参加者数 (1回) 60人	7/13
・星座缶バッジ(@100円)新規	参加者数 (30回) 759人	8/10~1/4
・ソーラー工作(@2,200円)	参加者数 (1回) 30人	8/24
・はじめての天体望遠鏡	参加者数 (1回) 14人	9/14
・視線シューティング	参加者数 (32回) 400人	9/15~12/1
実験		
・大実験ショー (光のふしぎを探る)	参加者数 (6回) 500人	7/21・27・8/4
その他		
・大人のためのやさしい天文講座	参加者数 (1回) 30人	6/9
・月の変化を見てみよう	参加者数 (3回) 39人	8/4・6・8
・クレヨンしんちゃんバラエティーショー	参加者数 (3回) 290人	8/25
・宇宙科学教室 (岩谷さん講演会)	参加者数 (1回) 102人	9/29
<b>【星空観望会】</b>		
星を見る会 (中止: 天候8回、コロナ1回)	参加者数 (6回) 295人	8/10~2/8
<b>【展示会】</b>	会期中の入場者数(8回) 84,667人	
ブラックホール写真パネル展示	会期中の入場者数 22,909人	4/13~7/19
七夕パネル展示	会期中の入場者数 5,745人	6/29~7/19
月・はやぶさ2パネル展	会期中の入場者数 31,754人	7/20~10/18
視聴覚教育センターアーカイブ展	会期中の入場者数 7,491人	12/21~2/2
ノーベル賞パネル展示	会期中の入場者数 8,982人	12/12~2/5
美博連携「ひなまつり」コーナー設置	会期中の入場者数 4,982人	2/1~3/4
新型コロナウイルスパネル展示	会期中の入場者数 1,693人	3/20~3/31
星の王子さまパネル展示	会期中の入場者数 1,111人	3/25~3/31

## 6. 地下資源館事業一覧

名 称	内 容	期 間
【学習教室】	参加者数 (270回)	8,689人
ワークショップ		
・ストーンペイント	参加者数 (6回)	112人 4/6~4/21
・虹色万華鏡(@100円) (コロナ中止6回)	参加者数 (11回)	171人 4/29~3/29
・エコ糸電話(@100円)	参加者数 (8回)	107人 5/3~5/25
・エアロトレイン	参加者数 (9回)	188人 6/1~6/30
・レモン備長炭電池(@800円)	参加者数 (1回)	35人 7/14
・手作り乾電池	参加者数 (1回)	41人 7/21
・風船ヘリコプター(@200円)	参加者数 (3回)	20人 7/23~7/30
・パワーストーンハンティング(@100円) 新規	参加者数 (27回)	926人 8/1~12/28
・われないシャボン玉(@100円) 新規	参加者数 (8回)	199人 9/7~9/29
・クリップクレーン(@100円) 新規	参加者数 (6回)	67人 10/5~10/26
・ゴムの力で飛ぶ飛行機(@400円)	参加者数 (9回)	88人 11/2~11/30
・空気砲(@100円)	参加者数 (5回)	84人 1/11~1/25
・静電気くらげ(@100円) (コロナ中止2回)	参加者数 (9回)	104人 2/1~2/24
ワークショップ (サイエンス・ボランティア)		
・おもしろサイエンスの日 (コロナ中止1回)	参加者数 (10回)	980人 4/28~2/23
・バルーンアート	参加者数 (14回)	54人 4/21~2/8
・虫型ロボットをつくろう(@2,400円)	参加者数 (2回)	40人 7/15・27
・脳トレゲーム	参加者数 (7回)	99人 8/3・1/18
・マグネシウム電池カー(@1,500円)	参加者数 (1回)	30人 8/4
実験ショー		
・ふりこのひみつ	参加者数 (9回)	295人 4/6~5/1
・静電気体験	参加者数 (18回)	166人 4/6~6/29
・光のふしぎ	参加者数 (19回)	536人 5/3~6/30
・-196度の世界	参加者数 (17回)	1,685人 7/6~9/1
・目の錯覚	参加者数 (1回)	70人 8/15
・音のふしぎ	参加者数 (17回)	996人 7/24~10/29
・静電気のはしぎ	参加者数 (17回)	564人 11/2~1/5
・空気砲であそぼう (コロナにより2回中止)	参加者数 (16回)	670人 1/11~2/24
・重心のひみつ (コロナにより6回中止)	参加者数 (4回)	50人 3/25~3/29
名古屋大学出前授業		
・真夏の南極ってどんなところ?	参加者数 (1回)	30人 11/3
・電気はクルマに、船に、飛行機に!	参加者数 (1回)	35人 12/1
・人と協働するロボット	参加者数 (1回)	20人 12/22



名 称	内 容	期 間
豊橋技術科学大学出前授業		
・遊んで学べる無線通信	参加者数（1回）	40人 8/25
・ロボコンのロボットができあがるまで （コロナのため中止）	参加者数（0回）	— 3/15
出前事業		
・市内小中学校ほか（7校1団体）	参加者数（8回）	178人 6/27～12/19
その他		
・自由研究相談	参加者数（2回）	7人 7/7・27
・サイエンスボランティア研修会	参加者数（1回）	2人 8/25
【その他】		
・謎解きフタガワCODE	参加者数	2,424人 11/2～3/15
【実験機材貸出】		
・市内小中高等学校ほか（7校3団体）	貸出回数	11回 6/11～1/17
【展示会等】		
企画展「電気のみしぎ」	会期中の入場者数	47,588人 4/1～9/1
企画展「おもしろ材料の世界」	会期中の入場者数	1,111人 3/25～3/31
展示会「魔法の美術館」コーナー	会期中の入場者数	22,505人 7/20～9/8
第1回小学生サイエンスアイデア作品展	会期中の入場者数	19,130人 571点 9/21～11/10

## 豊橋市視聴覚教育センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づき、豊橋市視聴覚教育センター(以下「センター」という。)の設置等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 本市における教育の充実、振興を図るため、センターを次の場所に置く。

豊橋市大岩町字火打坂19番地の16

(事業)

第3条 センターは、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 視聴覚教育に関する資料の収集、作成及び配布に関すること。
- (2) 学校、社会教育団体等に対する視聴覚機材及び教材の供給に関すること。
- (3) 視聴覚機材及び教材の利用に関する指導及び研修に関すること。
- (4) 児童及び生徒の学習のためセンターの施設を使用させること。
- (5) 教職員の研究及び研修のためセンターの施設を使用させること。
- (6) 前3号の事業に支障を及ぼさない範囲内においてセンターの施設を一般の利用に供すること。
- (7) その他教育委員会が必要と認める事業

(一部改正〔平成31年条例14号〕)

(職員)

第4条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

(使用の承認)

第5条 センターを使用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(使用料の納付)

第6条 前条の規定によって使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)が第3条第6号の規定により、センターの施設を使用しようとするときは、その際別表第1及び別表第2に定める使用料を納付しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、これを減免すること(一部改正〔平成31年条例14号〕)

(使用の制限)

第7条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、センターの使用を承認しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 営利又は商業宣伝を目的とした使用であると認めるとき。
- (3) 管理上支障があると認めるとき。
- (4) その他教育委員会が必要と認めるとき。

(権利譲渡等の禁止)

第8条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。ただし、個人でプラネタリウムを観覧しようとする場合は、この限りでない。

(使用承認の取消し等)

第9条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認められた場合には、センターの使用の承認を取り消し、又は使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 公益上又は管理上特に必要があると認められたとき。

(使用料の還付)

第10条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、次の各号の一に該当する場合には、その全部又は一部を還付することができる。

- (1) 教育委員会が管理上の都合によって使用の停止を命じたとき。
- (2) 使用者の責に帰することができない事由により使用できなくなったとき。
- (3) 使用者が使用前において使用の取消しを申し出て、教育委員会がこれを認めるとき。

(特別の設備)

第11条 使用者は、センターに特別の設備をし、又は変更を加えてはならない。ただし、あらかじめ教育委員会の許可を受けたときは、この限りでない。

(原状回復)

第12条 使用者は、センターの使用を終わったとき又は第9条の規定により使用の承認を取り消され、若しくは使用を停止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

(損害賠償)

第13条 使用者は、センターの施設、設備を損傷し、又は滅失したときは、市長の定める額を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第14条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。

附 則(昭和57年3月31日条例第13号)

この条例は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則(平成2年3月31日条例第6号)

この条例は、平成2年4月1日から施行する。

附 則(平成4年3月31日条例第13号)

1 この条例は、平成4年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

2 施行日前にこの条例による改正前の豊橋市視聴覚教育センター条例の規定により施行日以後の使用について許可を受け、又は申請をした者の当該使用に係る使用料の額については、この条例による改正後の豊橋市視聴覚教育センター条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成9年3月31日条例第2号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成9年4月1日から施行する。(後略)

(公の施設の使用等に係る経過措置)

第2条 平成9年4月1日(以下「施行日」という。)前にこの条例(中略)による改正前の各条例の規定により施行日以後の使用等について許可を受け、又は申請をした者の当該使用等に係る使用料の額については、この条例による改正後の各条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成23年3月31日条例第12号)

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

附 則(平成25年12月12日条例第34号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成26年4月1日から施行する。(後略)

(公の施設の使用等に係る経過措置)

第2条 平成26年4月1日(以下「施行日」という。)前にこの条例(第1条、第2条(別表第3(4)有料公園施設を利用する場合駐車場の部の改正を除く。)、第6条から第8条まで、第10条、第14条から第25条まで、第27条(別表第1の改正を除く。)、第29条、第30条、第32条から第40条まで、第42条から第45条まで及び第50条から第56条までの規定に限る。以下同じ。)による改正前の各条例の規定により施行日以後の使用等について使用料等を領収した場合における当該使用料等の額については、この条例による改正後の各条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成30年3月28日条例第8号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成30年6月1日から施行する。(後略)

(公の施設の使用等に係る経過措置)

第2条 この条例の公布の日(以下「公布日」という。)以前にこの条例(第4条、第5条、第7条、第8条、第10条から第12条まで、第14条、第15条、第18条、第20条、第21条、第23条及び第27条から第29条までの規定に限る。以下この項において同じ。)による改正前の各条例の規定により平成30年6月1日以後の使用等について許可等を受け、又は申請をした者の当該使用等に係る使用料等の額については、この条例による改正後の各条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

2 (略)

附 則(平成31年3月27日条例第14号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成31年10月1日から施行する。ただし、第15条中豊橋市視聴覚教育センター条例第3条及び第6条の改正並びに別表第3を削る改正、第29条、第46条、第49条並びに第55条の規定は平成31年4月1日から、第16条の規定は同年4月7日から、第53条中豊橋市自転車等駐車施設条例別表第3(3)二川駅南口自転車等駐車場(西エリア(自動車))の改正は同年6月1日から、第48条の規定は平成32年4月1日から施行する。

(公の施設の使用等に係る経過措置)

第2条 平成31年10月1日(以下「施行日」という。)前にこの条例(第1条、第2条、第4条から第7条まで、第9条から第14条まで、第15条(第3条及び第6条の改正並びに別表第3を削る改正を除く。)、第17条から第28条まで、第31条から第39条まで、第41条から第45条まで、第47条、第51条、第52条、第54条及び第57条の規定に限る。以下同じ。)による改正前の各条例の規定により施行日以後の使用等について使用料等を領収等した場合における当該使用料等の額については、この条例による改正後の各条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。



別表第1(第6条関係)  
 (一部改正〔平成25年条例34号・30年8号・31年14号〕)

別表第1(第6条関係)

区分	時間	午前	午後	全日
		午前9時から 正午まで	午後1時から 午後4時まで	午前9時から 午後4時まで
第一研修室		5,900円	5,900円	11,800円
第二研修室		2,940円	2,940円	5,880円
第三研修室		1,980円	1,980円	3,960円

※令和元年10月1日より

別表第2(第6条関係)

区分	プラネタリウム観覧料 (1人1回)		備考
	個人利用	団体利用 (30人以上)	
大人	300円	240円	個人利用において学 齢に達しない者は、 保護者1人につき1 人に限り無料とす る。
小人 (中学生以下)	100円	80円	

## 豊橋市視聴覚教育センター条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、豊橋市視聴覚教育センター条例(昭和49年豊橋市条例第16号。以下「条例」という。)第14条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 豊橋市視聴覚教育センター(以下「センター」という。)の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、開館時間を変更することが(一部改正〔平成2年教委規則5号〕)

(休館日)

第3条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

(2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

(一部改正〔平成2年教委規則5号・10年1号・19年3号〕)

(使用承認申請手続き)

第4条 条例第5条の規定により、センターの使用承認を受けようとする者は、使用承認申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。ただし、個人でプラネタリウムを観覧しようとするときは、この限りでない。

2 前項の使用承認申請書は、使用期日30日以前のもの又は使用が引続き7日を超えるときは、これを受理しない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(使用承認書の交付等)

第5条 教育委員会は、前条第1項本文の規定による申請を承認したときは、使用承認書(様式第2号)を申請者に交付する。

2 使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)がセンターを使用しようとするときは、第7条の規定による場合を除き使用承認書を市係員に提示してその指示を受けなければならない。

(プラネタリウムの観覧券の交付)

第6条 条例第3条第6号の規定により、プラネタリウムを観覧しようとする者は、使用料を納付して、観覧券(様式第3号)の交付を受けなければならない。

(プラネタリウムの観覧)

第7条 前条の規定により、観覧券の交付を受けた使用者が、プラネタリウムを観覧しようとするときは、観覧券を市係員に提出し、その指示を受けなければならない。

(優待券等の発行)

第8条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(追加〔平成16年教委規則11号〕)

(使用料の減免)

第9条 条例第6条ただし書の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 免除

ア 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者及びこれらの者の引率者がプラネタリウムを観覧するとき。

イ 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡設楽町、同郡東栄町及び同郡豊根村(以下「東三河地域」という。)の小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の教育活動の一環として児童又は生徒及びこれらの者の引率者がプラネタリウムを観覧するとき。

ウ 東三河広域連合の交付するほの国こどもパスポートの所持者がプラネタリウムを観覧するとき。

エ 東三河地域に居住し、又は通園している学齢に達していない者のうち、保護者1人につき2人目以降の者がプラネタリウムを観覧するとき。

(2) 免除又は減額

ア 観覧しようとする日の属する年の12月31日までに70歳以上となる者(市内に住所を有する者に限る。)がプラネタリウムを観覧するとき。

イ 市長が特別の事情があると認めるとき。

2 前項第1号イ及び第2号イの規定により使用料の免除又は減額を受けようとする者は、使用料減免申請書(様式第4号)を市長に提出しなければならない。

3 第1項第1号(イを除く。)及び第2号アの規定により使用料の免除又は減額を受けようとする者は、その事由に該当することを係員に示さなければならない。

(全部改正〔平成14年教委規則5号〕、一部改正〔平成16年教委規則6号・11号・25年4号・27年10号・30年7号〕)

(使用の取消し手続き)

第10条 使用者は、使用の取消しを受けようとするときは、使用取消願(様式第5号)に使用承認書を添えて教育委員会に提出しなければならない。

(一部改正〔平成16年教委規則11号〕)

(秩序の保持等)

第11条 使用者は、市係員がセンター内外の秩序を保つため必要があると認めるときは、整理人を置かなければならない。

2 使用者は、市係員の入場を拒むことができない。

(一部改正〔平成16年教委規則11号〕)

(使用後の点検)

第12条 使用者は、条例第12条の規定により原状に回復したときは、市係員の点検を受けなければならない。

(一部改正〔平成16年教委規則11号〕)

(遵守事項)

第13条 センターにおいては、次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 施設、設備及び機材、教材を損傷し、又は汚損すること。
- (2) 建物又は敷地内において喫煙すること。
- (3) 所定の場所以外において火気を使用すること。
- (4) 許可なく飲食物その他の物品を販売し、又は陳列すること。
- (5) 植物を傷つけ、伐採し、又は採取すること。
- (6) その他教育委員会が管理上必要と認めた事項

(一部改正〔平成16年教委規則11号・22年8号〕)

(委任)

第14条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

(一部改正〔平成16年教委規則11号〕)

附 則

この規則は、昭和49年10月1日から施行する。

附 則(昭和57年3月31日教委規則第6号)

この規則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則(平成2年3月31日教委規則第5号)

この規則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則(平成10年2月12日教委規則第1号)

1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際、現に改正前の各規則の規定に基づいて作成されている様式は、改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間これを使用することができる。

3 この規則の施行の際、現にこの規則の施行の日以後の各施設の使用について承認されている日が改正後の各規則に規定する休館日に当たるときは、改正後の各規則の規定にかかわらず、当該日は当該施設の休館日としない。

附 則(平成11年3月31日教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年3月30日教委規則第7号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成14年8月30日教委規則第5号)

この規則は、平成14年9月1日から施行する。

附 則(平成16年3月31日教委規則第6号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成16年7月23日教委規則第11号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教委規則第3号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年11月25日教委規則第8号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成23年1月1日から施行する。

附 則(平成23年11月1日教委規則第7号)

この規則は、平成23年11月5日から施行する。  
附 則(平成25年3月28日教委規則第4号)  
この規則は、平成25年4月1日から施行する。  
附 則(平成27年3月27日教委規則第10号)  
この規則は、平成27年4月1日から施行する。  
附 則(平成30年3月29日教委規則第7号)  
この規則は、平成30年6月1日から施行する。  
附 則(平成31年3月28日教委規則第3号)  
この規則は、平成31年4月1日から施行する。

様式第1号(第4条関係)  
(全部改正〔平成31年教委規則3号〕)  
省略

様式第2号(第5条関係)  
(全部改正〔平成31年教委規則3号〕)  
省略

様式第3号(その1)(第6条関係)  
(全部改正〔平成23年教委規則7号〕)  
省略

様式第3号(その2)(第6条関係)  
省略

様式第4号(第9条関係)  
(全部改正〔平成31年教委規則3号〕)  
省略

様式第5号(第10条関係)  
(全部改正〔平成31年教委規則3号〕)  
省略

## 豊橋市地下資源館条例

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、豊橋市地下資源館（以下「地下資源館」という。）の設置等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 地下資源、エネルギー等に関する資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供し、併せて博物館資料に関する調査研究を行い、市民の文化の向上に資するため、地下資源館を次の場所に置く。

豊橋市大岩町字火打坂19番地の16

(事業)

第3条 地下資源館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 博物館資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する案内書、解説書、調査研究の報告書等を作成し、頒布すること。
- (4) 博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等を開催すること。
- (5) その他教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

(観覧等)

第4条 地下資源館の観覧は、無料とする。ただし、特別な企画に基づき博物館資料を展示する場合は、別表に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

2 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の還付)

第5条 納付された使用料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限)

第6条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 入館者に迷惑をかけ、又は地下資源館の施設、設備、博物館資料等を損傷するおそれがあると認めるとき。
- (2) 管理上支障があると認めるとき。

(損害賠償)

第7条 入館者は、地下資源館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失したときは、市長の指示に従い、これを原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。

(公の施設で長期かつ独占的な利用及び廃止を議会の議決に付すべきものに関する条例の一部改正)

2 公の施設で長期かつ独占的な利用及び廃止を議会の議決に付すべきものに関する条例（昭和39年豊橋市条例第18号）の一部を次のように改正する。

第3条に次の1号を加える。

(10) 地下資源館

(豊橋市都市公園条例の一部改正)

3 豊橋市都市公園条例（昭和32年豊橋市条例第7号）の一部を次のように改正する。

第7条の2中「、視聴覚教育センター」の次に「、地下資源館」を加える。

別表第1岩屋緑地の項中「視聴覚教育センター」の次に「、地下資源館」を加える。

附 則（昭和57年3月31日条例第14号）

この条例は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則（平成4年3月31日条例第14号）

この条例は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成26年12月11日条例第49号）

この条例は、平成27年4月1日から施行する。（後略）

別表（第4条関係）

区分	1人1回につき	
	個人	団体（20人以上）
児童・生徒	400円	300円
一般	1,000円	800円

備考

1 児童・生徒とは、小学校、中学校、高等学校及びこれらに準ずる学校に在学する児童又は生徒をいう。

2 一般とは、児童・生徒以外の者をいう。ただし、学齢に達しない者を除く。

## 豊橋市地下資源館条例施行規則

### (趣旨)

第1条 この規則は、豊橋市地下資源館条例（昭和55年豊橋市条例第41号。以下「条例」という。）第8条の規定に基づき、豊橋市地下資源館（以下「地下資源館」という。）の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (開館時間)

第2条 地下資源館の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

### (休館日)

第3条 地下資源館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

(2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

### (観覧券の交付)

第4条 条例第4条第1項の規定により、特別な企画に基づく展示会（以下「特別展」という。）を観覧しようとする者は、使用料の納付と引き換えに教育委員会がその都度定める様式による観覧券の交付を受けなければならない。

### (優待券等の発行)

第5条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、特別展の優待券又は招待券を発行することができる。

### (使用料の減免)

第6条 条例第4条第2項の規定により、使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 教育課程に基づく学習活動として児童、生徒及びこれらの引率者が観覧するとき。

(2) その他市長が特別の事由があると認めるとき。

2 前項の規定により使用料の減免を受けようとする者は、使用料減免申請書（様式第1号）を市長に提出しなければならない。

### (使用料の還付)

第7条 条例第5条ただし書の規定により既納の使用料の全部又は一部を還付することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 観覧しようとする者の責めに帰することのできない事由で観覧することができなくなったとき。

(2) その他市長が特別の事由があると認めるとき。

### (博物館資料の館外貸出)

第8条 博物館資料は、館外貸し出しを行わないものとする。ただし、博物館、図書館、学校、その他教育委員会が適当と認められたものについては、この限りでない。

2 前項の館外貸し出しを受けようとするものは、資料館外貸出申請書（様式第2号）を教育委員会に提出しなければならない。

### (博物館資料の寄託)

第9条 地下資源館は、博物館資料の寄託を受けることができる。

博物館資料を寄託しようとする者（以下「寄託者」という。）は、資料寄託申請書（様式第3号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、寄託者に資料受託書（様式第4号）を交付するものとする。

### (委任)

第10条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

### 附 則

この規則は、昭和55年11月1日から施行する。

附 則（平成2年3月31日教委規則第6号）

この規則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（平成10年2月12日教委規則第1号）

1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際、現に改正前の各規則の規定に基づいて作成されている様式は、改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間これを使用することができる。

3 この規則の施行の際、現にこの規則の施行の日以後の各施設の使用について承認されている日が改正後の各規則に規定する休館日に当たるときは、改正後の各規則の規定にかかわらず、当該日は当該施設の休館日としない。

附 則（平成19年3月30日教委規則第3号）  
この規則は、公布の日から施行する。

様式第1号（第6条関係）  
省略

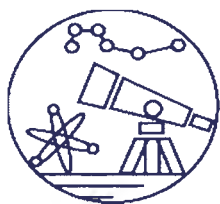
様式第2号（第8条関係）  
省略

様式第3号（第9条関係）  
省略

様式第4号（第9条関係）  
省略







# とよはしプラネタリウム

豊橋市視聴覚教育センター・地下資源館

豊橋市視聴覚教育センター

年報 令和元年度

豊橋市地下資源館

令和2年（2020）9月発行

編集発行

豊橋市役所教育部科学教育センター

〒441-3147

愛知県豊橋市大岩町字火打坂19-16

TEL (0532) 41-3330

FAX (0532) 65-2716